

1・2年生 9月号

< 聖書 >



世界でさいしよの人間は“アダム”というたよまえです。イエスキリストはむかしのことか“わかる”のでしょうか？それは「聖書」にかいてあるからです。「聖書」には神さまが世界をつくったときからの言葉やイエスキリストがわたしたちにおしえてくれた神さまの言葉がかかれています。神さまからのわたしたちへのお手紙のようですね。聖書は、大きく2つに分けられます。

① 旧約聖書

世界のはじまりからイエスキリストが生まれる前の神さまと人間の話

② 新約聖書

イエスキリストが生まれにあとの話

三女の中でかよらず書かされるので、かよらなくても聞いにことがありますよ。子どもむけの本にもかいてあるので、ぜひ読んでみてください。神さまやイエスキリスト、もともとにかよいにたされるはすです。聖書とておいて神さまはわたしたちにはたしめかけてくたっています。



< 世界のはじまり > 旧約聖書より

神さまは6日間かけて世界をつくりました。
 1日目～光・水とよる 2日目～とら
 3日目～海とりく・しよふつ 4日目～たよよ・月・ほし
 5日目～水の中の子の 6日目～やくのほきもの
 人間（アダム・イブ）をたつくりた。世界に
 王とてたて、7日目におき木かにはりた。
 たから、わたしたちも7日目（日曜日）は、
 教会に行き、ミサにあたりて神さまにたよまします。